

丸 亀 市

担 当 課	教育委員会 総務課
住 所	丸亀市大手町二丁目 4 番 21 号
T E L ・ F A X	TEL 0877-24-8820 FAX 0877-24-8868

放 課 後 子 供 教 室 箇 所 数	12 教室		
放課後児童クラブとの連携状況	一体型	連携型	該当なし
	1 教室	2 教室	9 教室
地域学校協働活動推進員又は地域コーディネーターの役職等（人数）	元教員、NPO 関係者など（12 人）		
協働活動支援員人数	54 人		
運営委員会委員数	11 人		

どっकिन☆くらぶ

教室の特徴 ここがー押し・教室の自慢	<ul style="list-style-type: none"> ●火曜日から金曜日の放課後、継続的に実施しており、日々の子どもたちの様子や成長を見守っています。 ●ワクワクどきどき、体験と出会いの居場所です。 ●学校の違う子ども達も来ており幅広い友達関係が築けています。 ●異年齢の繋がりも深まり、上級生が低学年の子どもたちをアシストしています。 ●田舎のおばあちゃんちのような古民家に「ただいま～」と帰ってきて、広い庭で外遊びを楽しみにしています。
活 動 場 所	丸亀市立城東小学校区
活動日・時間・実施回数	火～金曜日 15:00～18:30 151回 休日 9:30～15:00 1回 夏休み教室 9:00～12:00 13回
活 動 内 容	おはなし会、野菜ソムリエさんの野菜教室、ボードゲーム、ネイティブ先生の英語教室、レザークラフト、フィットネス教室、サイエンス教室、竹パン作り、茶道教室、日本舞踊体験、ジャグリング体験、片付け防災カルタ講座、おはなし会、工作、ストーリーテリング、おやつ作り、多世代交流イベント
教室の充実に向けて	様々な体験ができるよう幅広く地域の方に関わって頂いています。子ども達が年齢性別に関係なく、関わり合えるよう、外遊びやゲームに取り組んでいます。保護者と子どもに対して説明会を行い、大切にしていることや決まり事など事前に理解してもらっています。月1回、スタッフミーティングを設け、子ども様子や取り組みの振り返りや計画等の話し合いをし、スタッフ同士で共有をしています。
登録児童数・平均参加人数	登録41人、平均12人

子どもとのかかわり方の工夫

- 子どもたちが自主的に取り組めるよう、スタッフは指導者ではなく寄り添うファシリテーターとして関わっている。
- 学年や性別に関係なく、みんなが関わり合えることを大切にしている。
- 子どもたち一人ひとりを「認める」こと受容することを大事にしている。
- 生活力、自己管理能力、創造力、編集力を身につけられる場、個性を大切に子ども達同士の認め合いまた自己実現の場にもなるよう環境づくりやスタッフ同士のスキルアップにも努めている。
- コロナ対策のため、昨年から教室を広い部屋に変更し、机の配置もコの字型から、教室並べに変えた。子どもたちの要望が多いおやつ作りを少しずつはじめている。消毒は開室前閉室後、室内や玩具、使用道具など細目に行った。手指の手洗い、消毒、マスクの着用など、子ども達にも感染対策の協力を促している。

防災かるた



野菜収穫体験



わんぱくクラブ

教室の特徴 ここがー押し・教室の自慢	色々な年代の子どもが集まって、親子での活動体験を目指しています。さつまいの収穫で焼いて食べる、楽しく、面白い活動をしています。
活動場所	飯山北コミュニティセンター、地域の様々な場所
活動日・時間・実施回数	毎月第四土曜日 9:00~12:00 7回から8回
活動内容	わんぱく農園での野菜作り、野外でのネイチャークラフト、竹パン等のキャンプ飯作り、草木染め、星空観察など自然体験活動を行なっています。
教室の充実に向けて	色々な場所に出かけて、様々な体験活動が出来るように活動内容の見直しや、親子での体験活動を充実させたいです。
登録児童数・平均参加人数	今年の44名の登録、活動が少ないですが、20名から35名

子どもとのかかわり方の工夫

- ・今年度はコロナの影響で、検温、消毒をスタッフ、参加者に行っています。
- ・屋外活動の時は、移動時の交通安全や活動作業も保護者の方の協力も得ています。
- ・さつまい収穫の時は、芋の美味しい食べ方や芋の名前の由来などの話もして、親子で楽しく芋掘りをしています。その他の活動も、出来るだけ親子で体験出来るようにしています。

わんぱく農園親子で収穫体験



おじよもんクラブ

教室の特徴 ここがー押し・教室の自慢	体験型教室（様々な力につながるプログラムの実施）
活動場所	飯野コミュニティセンター
活動日・時間・実施回数	長期休暇（夏・冬・春）・ 20回
活動内容	レクリエーション・クラフト・スポーツ・料理など
教室の充実に向けて	活動内容を地域に発信し、学校・地域からの協力を得ている。 放課後児童クラブ（青い鳥）との交流・連携を図っている。
登録児童数・平均参加人数	登録児童数 70人

子どもとのかかわり方の工夫

- あいさつ・整理整頓・準備・片づけ等、約束事を決めている。
- 学年に応じて準備や活動のレベルを変え、子どもたちみんなが楽しめるように配慮している。
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を徹底し、除菌・消毒などの協力をこまめに依頼する。

フルーツサンドづくり



組手細工



育て！岡田っ子プログラム

教室の特徴 ここが一押し・教室の自慢	夏休み中の学校外活動を提供する場として「夏休みこども教室」を開催して、学校ではできない体験をさせたい。
活動場所	岡田コミュニティセンター
活動日・時間・実施回数	宿題塾 7月29日、30日 9:00～11:00 2回 ペットボトルのあかり工作教室 8月1日 10:00～12:00 1回 こどもペタンク教室 8月6日 10:00～11:00 1回 親子パン作り教室 8月7日 10:00～12:00 1回
活動内容	夏休みの宿題を進める教室の他、親子のパン作りやニュースポーツ、リサイクル工作
教室の充実に向けて	今年度は新型コロナウイルス感染拡大を受けて、例年よりも大幅に規模を縮小して実施した。来年度からは岡田コミュニティの第3次まちづくり計画に基づいて、岡田コミュニティ事務局が全体の連絡調整を行いながら、地元の方のネットワークも生かした教室を企画して実施していきたい。
登録児童数・平均参加人数	登録44名 平均11名

子どもとのかかわり方の工夫

- 宿題塾は、長年にわたって学校教育に携わってきた元教員の力を借りた運営を行った。
- あかり工作でつくった作品は、岡田ふれあい広場の【夏のイルミネーション】で飾る作品づくりも同時に行うように働きかけをすることで、まちの活性化につながった。
- ニュースポーツである『ペタンク』は、生涯学習クラブで活動するメンバーが講師となり、子どもたちの指導にあたるようにした。生涯学習の成果が『子どもに教える』ことで発揮でき、指導者の意欲にもつながった。
- 地元のパン屋さんの協力をいただき、直接指導を受けたパン作りは学校ではできない体験活動となった。

ペットボトルのあかり工作教室



こどもペタンク教室



みんなのみなみ みなみのみんな

教室の特徴 ここがー押し・教室の自慢	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人との交流を通して地域を愛する子どもを育てる。 ・大勢のスタッフを確保し、一人一人の子どもに寄り添う。 ・体験的な学習を行う。
活動場所	・丸亀市立城南小学校
活動日・時間・実施回数	夏休み3日間（サマースクール）9：00～11：30
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ドリル教室 ・みんなで遊ぼう（チーム対抗ミニ運動会）
教室の充実に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みの宿題支援を行う。個別学習に対応できるように、スタッフの人数を十分確保した。 ・コロナ禍で、集団で思いっきり体を動かしたり、遊んだりすることが少なくなってきた子どもたちに、集団遊びの面白さを体感させたいと考え、プログラムを組んだ。
登録児童数・平均参加人数	サマースクール 登録人数132人 平均参加人数88人

子どもとのかかわり方の工夫

- 各学年に3～4人のスタッフを配置できたので、個別の支援も十分行うことができた。
- 「運動能力向上につながる遊び」「仲間とのかかわり方を学ぶ遊び」「高学年のリーダーシップを発揮できる遊び」を意識したプログラムを組んだ。異学年混合のチームを作りチーム対抗のミニ運動会を行った。各チームには2～3人のスタッフが付き、大人と子どもが一体となりチームを応援する姿が多く見られた。
- 大人数の子どもとスタッフに安心して参加してもらうためのコロナ対策には腐心した。

ドリル教室



みんなで遊ぼう



教室名 たかんぼ塾

教室の特徴 ここが一押し・教室の自慢	天文学宇宙に特化した教室（星のソムリエ・JAXA 宇宙教育指導者・かがわ宇宙教育推進協議会会員が対応している）
活動場所	栗熊コミュニティセンター駐車場
活動日・時間・実施回数	毎月第1土曜日、夏休み3日間、年15回、日没後2～3時間
活動内容	月、惑星、星雲、流星、人工衛星、星座などの観望と説明
教室の充実に向けて	伝説や神話、最新の「宇宙のニュース等」の話題をしながら取り組んでいる。天候不良時は座学を予定するがコロナ禍で未開講
登録児童数・平均参加人数	登録児童数30名・平均参加人数10名

子どもとのかかわり方の工夫

- ほとんど夜の暗い場所での教室であるので、事故を一番注意している。
- その年の天文現象の話題に対応、場合により機材を用いて現象説明にも対応。
- 宇宙についてネット、スマートフォンの上手な正しい使い方の指導（検索、天体写真撮影等）。
- コロナ禍における機材消毒、密を避けての運営に工夫している。

星空観測会

月食の説明中



ひまわりエルダークラブ

教室の特徴 ここが一押し・教室の自慢	サマーキャンプ・クラフト・クッキング・ピクニック・プール など豊富なイベントがある。
活動場所	丸亀ひまわりこども園
活動日・時間・実施回数	長期休み中
活動内容	サマーキャンプ・クラフト・クッキング・ピクニック・プール・ ダンス・園児とのふれあい遊び
教室の充実に向けて	調べ学習に対応できるように図書の実装を目指す。
登録児童数・平均参加人数	登録 19 人 イベント時 10 人

子どもとのかかわり方の工夫

- 現在は卒園児中心なので、園時代の遊びの復活（プールやスライダー遊び・運動遊び）や給食、手作りおやつを楽しんだりしている。
- 子どもたちの「したい!」「やってみたい!」の声をもとに柔軟にイベント企画をしている。
- お城への散歩など自然と触れ合う事を多くしている。
- コロナ感染症のため、手指の手洗い・消毒・マスクの着用など協力を促し、人数を少なくしている。

クラフトづくり



本事業における成果・今後の課題

- 成果
- ・丸亀市では、島しょ部を除く全 15 校区のうち、12 校区に教室を設置している。昨年度より新型コロナウイルス感染症の影響により開室できない教室がある中で今年度は 7 教室開室することができた。
 - ・放課後留守家庭児童会（青い鳥教室）との連携については、今年度 2 教室で実施することができ、一体型の子供教室についても長期休業期間中に実施した。
- 課題
- ・既存の教室についても人材が不足している場面があるため、引き続き新たな人材発掘に取り組む。